

進学や将来 先輩から学び 白糠高生、大学生と座談会【白糠】

【白糠】白糠高校（佐野住夫校長）は15日、現役の大学生3人を招いた座談会を開いた。1、2年生40人が、大学進学のメリットやデメリット、将来設計などについて、少し年上の人生の先輩たちから学んだ。（森崎博史）

同校では、生徒に大学進学という選択肢を持ってもらおうと、大学生や院生と交流する場を設けており、座談会は3回目。この日は、北海道大学、フェリス女学院大学、北海学園大学の4年生3人が来校。大学に関する〇×クイズや、大学生のスケジュールなどを紹介し、3グループに分かれて座談会を実施した。

中標津町出身で中標津高校卒業後、北海学園大に進学した田村淳人さん（22）は「高校生までに将来、何をしたいか決められなかったという理由で大学に進学した。大学でさまざまな人と出会い、自分の進みたい道を見つけることができた。4月からは東京のIT企業に就職する。とても大事な4年間だった」と振り返った。

1年生の對木慎哉さん（16）は「高校卒業後は短大への進学を考えていたが、きょうの話を聞いて大学もいいなと思った。自分の将来についてしっかり考えていきたい」と話していた。



[写真／生徒に大学進学の魅力について語る田村さん]